

学校運営協議会議事録

作成日 令和5年6月28日

作成者 岩澤 和弥

会議名:令和5年度 第1回小田原高等学校 学校運営協議会

日時:令和5年6月28日(水) 14:30~16:30 場所:第一会議室

時程・議題

- (1)学校運営協議会委員委嘱等 14:30~14:45
- (2)全日制授業観察 14:50~15:30
- (3)学校運営協議会(司会 副校長 / 記録 改田教諭・岩澤教諭):15:40~16:30

【学校評議委員会委員、学校担当職員】

1. 石野会長より
- 2.出席者紹介
- 3.学校運営協議会各部会について
4. 令和5年度 学校評価 目標設定 について(各グループ)

全日制課程

[菊地原孝祐・総務グループ 総括教諭]

[山口 真也・教務グループ 総括教諭]

[由元 美保・研究開発グループ 総括教諭]

[能勢 博之・キャリアガイダンスグループ 教諭]

[二宮 賢一・生徒支援グループ 総括教諭]

定時制課程

[柴田 訓一・学習支援グループ 総括教諭]

[上杉 和弘・教育活動推進グループ総括教諭]

5. 質疑応答・委員からの意見聴取

- (4) 閉会

(3) 協議

- ①石野会長より
- ②出席者紹介
- ③全日制課程

[菊地原孝祐・総務グループ 総括教諭]

- ・令和5年度の計画と昨年度の報告
地域貢献活動では地域清掃のみならず幅広い地域との交流を目指す。

[山口 真也・教務グループ 総括教諭]

- ・学習指導要領も変更されており、生徒の能力育成のためのカリキュラム作成・時間割編制を担っている。
SSHに伴う時間割編制などでも研究開発グループと協力して生徒の資質能力の向上を目指す。
- ・成績処理や入学者選抜での事故防止のために、点検などのシステムづくりを行う。

[由元 美保・研究開発グループ 総括教諭]

- ・今年度より神奈川県内で9校目となる、SSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)となり、科学的探究力・協働力・創造力を育成することを目指している。国際交流などを含む高度な科学的探究活動を目指すために、学校全体や地域の方などとの連携を通してより高度な内容を目指す。

[能勢 博之・キャリアガイダンスグループ 教諭]

- ・外部に頼ることなく、学校独自で検討しながら保護者向け説明会を行っている。説明会のオンライン化についてはデータの性質も踏まえ慎重に検討している。
- ・先輩大学生の講演会や夏期講習などを積極的に開催し、長期的目標も意識させ、進路について適宜指導している。
- ・昨年度の大学受験結果では現役の国公立大学合格者が100名を超えるなど成果が出ている。

[二宮 賢一・生徒支援グループ 総括教諭]

- ・文化祭(小田高祭)を一般公開することができ、4000人以上の一般客の方々を受け入れることができた。
生徒主体の運営で自発性を育むことができています。
- ・部活動では県大会ベスト8以上や全国大会などへの出場が決まっている部活が複数ある。特に放送部の作品は百段坂を題材にした作品で高い評価を得た。数多くある地元の題材を有効活用し、対外向けに発表している。

定時制課程

[柴田 訓一・学習支援グループ 総括教諭]

- ・少数の人数ではあるが、小中学校では十分な学習ができなかった生徒や全日制高校からの進路変更をした者など多岐にわたる生徒がいる。集団での活動などで課題があるが、基礎学力の定着と自己肯定感の育成を目指して教育活動を行っている。
- ・ICT 端末を積極的に活用し、試験などでも導入している。ICT 機器においてより活用できるようにする。

[上杉 和弘・教育活動推進グループ 総括教諭]

- ・教育相談体制の強化を目指し、組織的な対応を進めている。
- ・小中学校で長期欠席であった生徒もあり、将来的にどのように社会とつなげるかということ意識し指導している。人数が少ないからこそ指導がきめ細やかにできている。
- ・地域貢献活動では、地域の方との交流を目指して生徒自身の成長も目指している。
- ・部活動でも上位大会進出者がでており、このままの取り組みを継続していきたい。

④質疑応答

◎[石野委員]

地域の活力や生徒のやる気の育成のためにも広報活動に力を入れ、教育活動の成果をもっとアピールしてほしい。
待っている姿勢ではなく、積極的な発信を求めたい。

◎[川合委員]

授業観察を通して、環境の変化を感じた。グループワークやプロジェクターなどの使用をしている点に変化を感じた。
一方で安易に物事を検索できる環境が良いのかどうかと疑問を感じた。AIなどの利用に関する方針があれば説明願
いたい。

[由元総括教諭]

全県的な ICT 端末の導入を受けて、授業研究を検討している。他校の取り組みなども踏まえて本校の生徒に一番向
いているものを検討していきたい。

◎[櫻井委員]

生徒の様子に感心した。しっかりとした授業態度であった。個人的な活動と学校教育で協力できればよいと考える。

◎[石野委員]

OB・OG など多くの関係者の支援を積極的に求めてほしい。小田原高校の歴史と伝統を上手に活用し、地域とともに
小田原高校の発展を目指してほしい。

⑤その他

今後の予定

第2回 11月 14:30～16:30(予定)

第3回 3月 15:30～16:30(予定)

[資料]

①配布資料一覧

②令和5年度 第1回次第・座席表(裏面)

③令和5年度小田原高等学校学校運営協議会

⑤神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則

⑥神奈川県立学校に設置する学校運営協議会の運営等に関する要綱

⑦全日制資料(地域連携関連資料・SSH 関連資料・部活動実績一覧 等)

⑧定時制資料(地域貢献活動資料・進路関係資料・部活動実績一覧 等)

⑨全日制公開授業一覧

⑩令和5年度コミュニティスクール説明会の開催について・説明会開催要項(裏面)

⑪学校要覧

⑫学校案内

⑬令和5年度進学のおしり

⑭神奈川県立学校のコミュニティ・スクールの手引き